

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	i-ROCK における In Room CT の臨床利用
	研究目的	神奈川県立がんセンター (i-ROCK: ion-beam Radiation Oncology Center in Kanagawa) では 2015 年 12 月 15 日より重粒子線治療 (炭素線) を開始し, 2019 年 5 月までに 700 件/2 治療室の治療を実施した。治療室は全部で 4 室 (水平: 2 室, 水平/垂直: 2 室) あり, 骨照合を目的とした正面・側面 2 対の X 線撮影システム, および治療計画 CT と同型の自走式 In-Room CT (Aquilion LB, Canon Medical, 同室 CT と省略) が全治療室に設置されている。水平/垂直の治療室には, X 線透視撮影が可能な 2 対の斜め X 線撮影システムが設置されている。本研究では, 当院の同室 CT で撮影された CT 画像上で重粒子線の線量分布を計算・解析し, 学会等でその結果および同室 CT の有効性を報告する。
	研究対象者	骨軟部及び膵臓で治療を実施した患者 2 名の CT 画像 (2018 年~2019 年)
	研究期間	西暦 2019 年 10 月 2 日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (治療計画 CT 画像) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	草野陽介
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	草野陽介
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし